

会

告

日本鉄鋼協会第76回(秋季)講演大会開催ご案内

会 員 各 位

日本鉄鋼協会会長 藤 本 一 郎

本会は来る 9 月 21 日(土)、22 日(日)、23 日(月)の 3 日間、東北大学工学部において第 76 回講演大会を、また 9 月 24 日(火)、25 日(水)の両日、日本金属学会と合同で工場見学会を開催いたします。下記日程をご覧のうえ、多数会員ふるつてご参加下さるようご案内申し上げます。

記

日 程	9 月 21 日(土)	9:00	開会式、特別講演会
		13:00	学術講演会、討論会
		18:00	懇 親 会
	9 月 22 日(日)	9:00	学術講演会、討論会
			婦人見学会(仙台近郊)
	9 月 23 日(月)	9:00	学術講演会、討論会
			工場、研究所等見学会
	9 月 24 日(火)}		(東北地区 8 コース)
	9 月 25 日(水)}		
会 場	学術講演会	東北大学工学部(仙台市荒巻字青葉)	
	懇 親 会	仙 台 ホ テ ル(仙台市裏五番丁 5)	

講演プログラム}
講演概要集

会誌「鉄と鋼」第 10 号(臨時増刊号)に掲載、全会員に配付いたします。

見 学 会 }
懇 親 会 }

全国各地からお集まりになられる会員各位には、唯一の交歓親睦の場として奮つてご参加下さい。最近は何を追うごとに婦人ならびに家族を同伴される会員が増えてまいりました。懇親会へのご参加をはじめ、婦人見学コースも(N118 ページ参照)編成いたしますので、奮つてご参加下さるようご案内いたします。

日本学術会議会員候補者推薦について

きたる 11 月 25 日(投票締切日)に行なわれる日本学術会議第 8 期会員選挙の会員候補者として、各位のご意向にもとずき理事会の議を経て、下記の方々を推薦することに決定いたしましたので、会員諸氏にご報告いたします。

記

全国区第 5 部推薦候補者

東北大学金属材料研究所教授	今井勇之進君
東京大学教授	木原 博君
八幡製鉄株式会社専務取締役、堺製鉄所所長	武田 喜三君
石川島播磨重工業株式会社理事、技術研究所所長	中村 素君

地方区第 5 部推薦候補者

近畿地方区	大阪大学学長	岡田 実君
中部地方区	名古屋大学教授教養部長	佐野 幸吉君

昭和43年度秋季講演大会実行委員

(五十音順敬称略)

顧問

石原寅次郎 東北大学名誉教授
 内田 英成 東北工業大学学長
 大日方一司 東北大学名誉教授
 神田 英蔵 東北大学金属材料研究所々長
 島野 武 仙台市長
 鈴木廉三九 宮城工業高等専門学校々長
 寿時 富弥 東北大学名誉教授
 高橋進太郎 宮城県知事
 永井 健三 東北学院大学工学部々長
 日比 忠俊 東北大学科学計測研究所々長
 前田 四郎 東北大学工学部々長
 増本 量 東北大学名誉教授
 村上武次郎 東北大学名誉教授
 本川 弘一 東北大学総長

実行委員長

広根徳太郎 東北大学金属材料研究所教授
 日本金属学会々長

副実行委員長

今井勇之進 東北大学金属材料研究所教授
 齊藤 恒三 東北大学選鉱製錬研究所教授
 日本金属学会 副会長
 三本木貢治 東北大学選鉱製錬研究所教授
 日本鉄鋼協会東北支部長
 竹内 栄 東北大学金属材料研究所教授
 日本金属学会東北支部長
 森岡 進 東北大学工学部教授

実行委員

青木猪三雄 東北学院大学工学部教授
 青木 竜一 日曹金属(株)会津製錬所々長
 赤松 知止 川崎製鉄(株)仙台営業所々長
 秋山 敬 富士製鉄(株)仙台営業所々長
 安生 浩 富士製鉄(株)釜石製鉄所管理部長
 井垣 謙三 東北大学工学部教授
 老岐 武彦 富士製鉄(株)釜石製鉄所研究所々長
 池内 駿 東北金属工業(株)常務取締役
 和泉 修 東北大学金属材料研究所教授
 磐城 恒隆 東北特殊鋼(株)副社長
 梅津 良之 秋田大学鉱山学部教授
 大内 峻 岩手大学工学部教授
 大川 浩 (株)神戸製鋼所仙台営業所々長
 太田 和一 東北学院大学工学部教授
 大谷 正康 東北大学選鉱製錬研究所教授
 大場 敏代 東北砂鉄鋼業(株)八戸製鋼所所長
 大原 亨 東北学院大学工学部教授
 大平 五郎 東北大学工学部教授
 大森 康男 東北大学選鉱製錬研究所教授
 小川 四郎 東北大学金属材料研究所教授
 尾崎 猛 東北金属工業(株)社長
 尾崎 利雄 富士製鉄(株)釜石製鉄所副所長
 音谷 登平 東北大学金属材料研究所教授
 加藤 三郎 日曹金属(株)仙台事務所々長
 金子 淳 福島製鋼(株)取締役
 金子 秀夫 東北大学工学部教授
 亀田 浩雄 “ ”
 辛島 誠一 “ ”
 萱場 孝雄 “ ”
 川崎 正 “ ”
 菅野 卓治 東北大学選鉱製錬研究所教授
 北村 尚三 ソニー(株)仙台工場次長

木村 宏 東北大学金属材料研究所教授
 幸田恵一郎 住友金属工業(株)仙台営業所々長
 幸田 成康 東北大学金属材料研究所教授
 小島 浩 東北大学科学計測研究所教授
 後藤 秀弘 東北大学金属材料研究所教授
 小林 卓郎 東北大学工学部教授
 小山 清孝 (株)原田鑄造所社長
 齊藤 英夫 東北大学金属材料研究所
 佐々木広吉 日本金属学会主事
 佐藤 二郎 仙台精密材料研究所々長
 佐藤 彦和 昭和電工(株)喜多方工場長
 佐伯 宗義 (株)福島製作所社長
 伊達製鋼(株)社長
 沢田 可信 東北大学工学部教授
 四条 隆 日曹製鋼(株)仙台事務所々長
 島田 平八 東北大学工学部教授
 下平 三郎 東北大学金属材料研究所教授
 庄子 卯平 日本金属学会主事補
 白川 勇記 東北大学金属材料研究所教授
 鈴木 進 “ ”
 鈴木 学 小名浜製鉄(株)小名浜製錬所々長
 須藤 欽吾 東北大学工学部教授
 須藤 一 “ ”
 高田 亮一 福島製鋼(株)社長
 高橋 高治 (株)山正鑄造所代表取締役
 武田 武 東北鉄鋼協議会専務理事
 田中英八郎 東北大学金属材料研究所教授
 棚沢 泰 東北大学工学部教授
 田辺弥佐久 東北大学科学計測研究所教授
 富沢 節夫 ソニー(株)仙台工場工場長
 長崎 誠三 日本金属学会専務理事
 中村 三郎 宮城工業高等専門学校教授
 奈古屋嘉茂 日曹製鋼(株)八戸工場工場長
 西沢 泰二 東北大学工学部助教授
 西野 博 三菱金属鉱業(株)仙台事務所々長
 野田 郁也 富士製鉄(株)釜石製鉄所々長
 羽柴 茂宏 日本高周波鋼業(株)八戸工場工場長
 原田 恵伍 東北特殊鋼(株)社長
 平野 賢一 東北大学工学部助教授
 平林 真 東北大学金属材料研究所教授
 広川 友雄 日本大学工学部教授
 袋井 忠夫 東北大学金属材料研究所教授
 不破 祐 東北大学工学部教授
 本間 敏夫 東北大学選鉱製錬研究所教授
 本間 正雄 東北大学金属材料研究所教授
 前田 元三 秋田大学鉱山学部教授
 増田 良道 東北大学工学部教授
 松本 二郎 東北特殊鋼(株)専務取締役
 三神 悌二 岩手大学工学部教授
 村上 英二 東洋刃物(株)社長
 百崎 平三 日本鋼管(株)仙台営業所々長
 矢沢 彬 東北大学選鉱製錬研究所教授
 矢島 聖使 東北大学金属材料研究所教授
 柳沢 正昭 東北工業技術試験所々長
 山中 隼三 東新鋼業(株)八戸工場工場長
 山本美喜雄 東北大学金属材料研究所教授
 横堀 武夫 東北大学工学部教授
 横山 五郎 東洋刃物(株)技術部長
 吉崎 晃 山形大学文理学部教授
 吉田 哲郎 八幡製鉄(株)仙台営業所々長
 渡辺 浩 東北大学金属材料研究所教授

見学会申込みについて

—— 申込締切日 8 月 10 日(土) ——
(婦人見学申込締切日 9 月 5 日(木))

見学会に参加を希望される方は下記要領をご覧のうえ奮ってお申し込み下さい。

記

1. 期 日 9 月 24 日(火), 25 日(水)
2. 申込締切日 昭和 43 年 8 月 10 日(土) 12 時着信まで 婦人見学会切締日 9 月 5 日(木)
3. 申込方法 別記「見学会参加申込み上の注意」をご覧のうえ、別添申込用紙(1 人 1 枚)に必要事項を記入し、会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。会費の添付されないお申し込みは受付いたしません。領収書は見学班が決定しだい参加券と同時に送付いたします。
なお婦人見学会申込書は懇親会申込書をご利用下さい。
4. 見学先費} N 118 ページの見学班表をご参照下さい。
5. 申込先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階
日本鉄鋼協会 見学会係
電話 東京 (03) 279-6021 (代)
郵便番号 100

見学会参加申し込み上の注意

1. 見学会申し込みは本会会員に限ります。代理人の見学はお断わりいたします。
2. 申し込み締切りは 8 月 10 日(木) 12 時着信までとします。
3. 申し込みは 1 人 1 班とします。申し込み多数の場合は抽選により決定いたしますので、申し込みの際には第 3 希望まで順位をご記入下さい。なお、申し込みの際、第 1 希望班の会費をご送金願います。
4. 見学班決定後の見学会費の精算は大会中に見学班受付で行ないます。
5. 見学班が定員に満たぬ場合および見学先の突然の事情によりその班の見学中止あるいは行程を変更することがありますので、あらかじめご承知おき下さい。
6. 見学会が中止となった場合は、大会終了後 2 週間以内に会費を返金いたします。
ただし、お申し込みの取消しは 8 月 20 日 16 時着信までとし、以後は取消しの申し出があっても返金いたしません。
7. 各班とも工場内での写真撮影は禁止といたします。
8. 各班とも集合場所、時間が違っていますので、十分ご注意ください。
9. 婦人見学会申し込み締切りは 9 月 5 日 16 時着信までとします。

懇親会の申し込みについて

—— 申込締切日 9 月 5 日 ——

講演大会に際し全国各地からお集まりになる会員各位の親睦の場として、下記のごとく懇親会を開催いたします。会費などについても、より多くの方々にお気軽にご参加いただけるようにいたしました。

また、この機会に会員各位ご婦人同伴でご参加いただき、より明るい雰囲気での催しとしたいと思いますので、多数ご参加下さるようご案内申し上げます

記

1. 日 時 昭和 43 年 9 月 21 日(土) 18:00~20:00
2. 会 場 仙台ホテル(仙台市裏五番丁 3 仙台駅前)
3. 会 費 800 円(同伴婦人はご招待いたします)
4. 申込締切日 昭和 43 年 9 月 5 日(木)
5. 申込方法 別添申込書に必要事項ご記入のうえ、会費(現金書留)を添えお申し込み下さい。
なお見学会にも参加希望される方はなるべく見学会の申込時に一括お申し込み下さい。
領収書は申込締切日後送付いたします。
6. 申込先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階
日本鉄鋼協会 懇親会係 電話東京 03-279-6021
郵便番号 100

日本鉄鋼協会秋季講演大会見学班表

班	定員	日程	見 学 先	見学時間	所 在 地
1	25	24日	東北大学金属材料研究所 * 東北金属工業株式会社 松 島 観 光	9:00～10:30 11:00～12:30 12:30～	仙台市片平丁75 仙台市郡山字諏訪脇南10
2	25	24日	東北大学選鉄製錬研究所 * 東北金属工業株式会社 松 島 観 光	9:00～10:30 11:00～12:30 12:30～	仙台市片平丁75 仙台市郡山字諏訪脇南10
3	50	24日	伊達製鋼(株)伊達工場 * (株) 福 島 製 作 所 福島製鋼株式会社 吾妻スカイライン	8:30～ 9:30 10:30～11:30 11:30～13:00 13:00～	福島県伊達郡伊達町千供田 福島市三河北町9-80 福島市野田町字三河尻前 7-2
4	50	24日	小名浜製鉄(株)小名浜製鉄所	12:30～15:00	いわき市小名浜字渚 1-88
5	50	24日	吾妻スカイライン 猪苗代湖、飯盛山 鶴ヶ城	8:30～17:00	
		25日	日曹金属(株)会津製鉄所 * 昭和電工(株)喜多方工場	10:00～12:00 13:00～14:30	福島県耶麻郡磐梯村大字磐梯1372 喜多方市長内 7840
6	50	24日	富士製鉄(株)釜石製鉄所	12:30～15:30	釜石市鈴子町 23-15
		25日	青ノ木高炉跡	10:45～12:00	
7	50	23日			
		24日	* 東北砂鉄鋼業(株)八戸製鋼所 東新鋼業(株)八戸工場 * 日曹製鋼(株)八戸工場 日本高周波鋼業(株)八戸工場 海岸観光	9:30 ～12:00 12:00～14:00 14:00～15:00 15:00～	八戸市河原木字蓮沼 1-1 〃 八戸市頭山新田 八戸市沼館 4-1
8	50	24日	蔵王エコーライン (株)原 田 鑄 造 所 (株)山 正 鑄 造 所	9:00～ 13:30～14:30 14:40～15:40	山形市応寺町 6-9 山形市銅町2-23-4
婦人見学	50	22日	金属材料研究所 青葉城跡 東北大学工学部(講演会場) 塩釜・松島	仙台ホテル→金研→青葉城→ →塩釜→松島(松島湾内遊覧、瑞巖寺他)	

1. * 印は同業者お断り 2. 工場の写真撮影禁止

見 学 内 容	集 合・解 散 場 所	見 学 費	備 考
研究施設 金属磁性材料, フェライト	集合 東北大金研前 9:00 解散 仙台駅 17:00	800 円	1 班 2 班合流して東北金属へ 仙台18:10(特ひばり)→上野22:45 仙台18:09(特はつかり) →青森 23:39
研究施設 金属磁性材料, フェライト	集合 東北大選研前 9:00 解散 仙台駅 17:00	800 円	
鉄道車輛, 電気機材 繊維機械, 水力発電機, 油圧機, 産業機械 建設機械, 産業機械, 普通鋳鋼, 合金鋳鋼, 特殊鋳鋼	集合 伊達駅前 8:20 (仙台7:00あがの・いわき1号 伊達→8:14) 解散 福島駅前 17:30	600 円	福島18:20(第3いわて) →上野 22:14 〃 19:22(特ひばり) →〃 22:45 福島, 伊達駅近辺宿泊地 飯坂温泉, 穴原温泉
銅の製錬	集合 平駅前 11:30 (仙台7:00いわき→平 11:19) (あがの号が併結しておりますので 必ずいわき号にご乗車願います) 解散 平駅前 16:00	500 円	平16:22(ときわ)→上野 19:48 〃 18:13(第2みちのく) →上野 21:12 〃 17:50 →仙台 21:23 平近辺宿泊地…常磐湯本温泉 観光……………常磐ハワイ
湿式亜鉛製錬工程 アルミニウム電解鑄造工程	集合 福島駅前 8:30 (仙台7:00あがの・いわき1号 →福島8:24) 東山温泉一泊 解散 喜多方駅 15:00	3800円 東山温泉宿 泊費を含む	喜多方15:35(第3ばんだい) →上野 20:39
製鉄, 製鋼	集合 仙台駅前 7:00 仙台7:30(陸中)→釜石 12:24 釜石一泊 解散 釜石駅前 14:30	3900円 釜石宿泊費 仙台～釜石 乗車賃を含 む	釜石15:29(五葉)→盛岡19:04 〃 16:50(陸中)→花巻19:00 →仙台 21:40 観光 陸中海岸, 平泉, 中尊寺, 竜泉洞, 早坂高原, 花巻温泉
砂鉄製鉄, 製鋼, 連鉄 伸線 砂鉄製鉄, 合金鉄, LD製鋼連鉄 砂鉄製鉄	集合 仙台駅前 17:40 仙台18:09(特はつかり)→八戸 八戸一泊 22:36 解散 尻内駅前 18:00	4200円 八戸宿泊費 仙台～八戸 乗車賃を含 む	尻内18:24(第1おいらせ) →上野6:05 〃 19:05(第2十和田) →〃 6:55 観光 十和田, 陸中海岸, 竜泉洞, 浅虫温泉 同業者連鉄関係断
マシン部品, ダクタイルおよび 高級鋳鉄 美術鋳物	集合 仙台駅前 9:00 解散 山形駅前 16:30	800 円	山形17:40 → 仙台19:15 山形22:14(出羽) → 上野 5:22 山形近辺宿泊地 蔵王温泉, 上ノ山温泉, 天童温泉
→工学部→県庁・市役所前 →仙台	集合 仙台ホテル 9:00 解散 仙台ホテル前 17:00	1500 円	昼食: 松島 (季節料理) 申込締切: 9月5日

第76回講演大会における宿舎予約について

第 76 回講演大会における宿舎の予約を希望される方は下記により直接日本交通公社仙台営業所にお申し込み下さい。

記

1. 宿泊料金 (仙台市内、税・サービス料は含みません)
 ホテル シングル 2200円より
 トウイン 3600円より
 旅館 Aクラス 2500円、Bクラス 1800円
 (Aクラス2名、Bクラスは3名の合部屋となります。また個室を希望される方はAクラスの3割増となります)
 なお、観光地、温泉地などの旅館予約も受付けますが、宿泊料金は 2500～3500 円(税、サービス料別)程度です。
2. 申込予約金 1泊につき 500円
3. 申込締切日 昭和 43 年 8 月 10 日
4. 申込方法 別記申込書に必要事項ご記入のうえ、予約料金を添え各自直接お申し込み下さい。
5. 申込先 仙台市裏五番丁20 三信ビル

日本交通公社 仙台営業所 日本鉄鋼協会係
 日本金属学会
 電話仙台 (0222) 21-3611

公共宿泊施設のご案内

一般旅館とは別に、公共宿泊施設が下記の通り6カ所あります。種々資格制限もありますが、ご利用を希望される方は直接希望施設にお申し込み下さい。

宿 舎 名	住 所	宿泊料金 (1泊2食)	予約金	備 考
共 済 会 館	仙台市長刀町 7 仙台(0222)25-5201	(共済組合員) 1人部屋 1320円(1人) 2人合部屋1100円(当たり) (非組合員) 1人部屋 1860円(1人) 2人合部屋1480円(当たり)	200 円	共済組合関係
白 萩 荘	仙台市錦丁 7 仙台(0222)22-6692	900 円	300 円	小、中、高校教員、または紹介状があれば可
宮 城 寮	仙台市跡付町 1-1 仙台(0222)22-3301	1000 円	300 円	地方公務員、一般も可
翠 風 荘	仙台市北四番丁 162 仙台(0222)22-4469	1100 円	200 円	公務員
仙台クラブ	仙台市元寺小路 125 仙台(0222)22-3437	1200 円	0	防衛庁関係、または紹介状があれば可
仙 萩 閣	仙台市北二番丁60 仙台(0222)22-6345	1200 円	0	建設省関係 申込箇所 仙台市北三番丁 124 建設局厚生課 仙台(0222)25-2171

第76回講演大会「見学会」参加申込書

申込締切日 8 月 10 日（土）12 時着信まで

送付方法 申込書添付のうえ、現金書留にてお払込み下さい。

送付先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階 郵便番号 100
日本鉄鋼協会 見学会係

会 員 資 格	名 誉	賛 助	正	学 生	該当を○で囲んで下さい。
ふ り が な 氏 名					
勤務先および 職 名					
勤務先所在地					(郵便番号)
領収書送付先					(郵便番号)
通信先(勤務 先と違う場合)					(郵便番号)
第1希望 第2希望 第3希望			班 班 班	送金額 ￥	

第76回講演大会「懇親会」および「婦人見学会」参加申込書

申込締切日 9 月 5 日（木）16時着信まで

送付方法 申込書添付のうえ現金書留にてお払込み下さい。

送付先 東京都千代田区大手町 1-5 経団連会館 3 階 郵便番号 100
日本鉄鋼協会 懇親会係

会 員 資 格	賛 助	正	学 生	該当を○で囲んで下さい。
ふ り が な 氏 名				
勤務先および 職 名				
勤務先所在地				(郵便番号)
領収書送付先				(郵便番号)
通信先(勤務 先と違う場合)				(郵便番号)
ご婦人名			送金額 ￥ 800	
婦人見学会	ご婦人名			送金額 ￥ 1500

指定券・乗車券(帰路)の申込み受付について

第 76 回講演大会に参加され、仙台または見学会解散地からの帰路の指定券、乗車券ならびに観光についての指定券などを希望される方は、下記により直接交通公社仙台営業所にお申し込み下さい。

記

1. 申込締切日 昭和 43 年 8 月 10 日
2. 予 約 金 1 件 1 枚につき 500 円
3. 申 込 方 法 下記申込書に必要事項記入のうえ、予約金を添えお申込み下さい。
4. 申 込 先 仙台市裏五番丁20 三信ビル (郵便番号 980)
日本交通公社仙台営業所 日本鉄鋼協会 係
日本金属学会

注) 申込者多数の場合ご希望に添えないこともありますのであらかじめお含みおき下さい。

日本鉄鋼協会 仙台大会旅館予約申込書 日本金属学会

宿泊日	宿 泊 地	日	時	希望宿泊ならびに料金 (一泊料金)
		月 日 時 ~ 月 日 時	泊	ホテル・旅館 円
		月 日 時 ~ 月 日 時	泊	ホテル・旅館 円
		月 日 時 ~ 月 日 時	泊	ホテル・旅館 円
予約金	1 泊につき 500円× 泊分= 円			
通信先				

乗 車 券 申 込 書 (帰 路)

都府県名					
氏 名	代表者名	連絡先住所			
指 定 券	第一希望	特急・寝台・座席指定.....いつれか○で囲んで下さい ()月()日列車名 等・区間 から	まで	枚	
	第二希望	特急・寝台・座席指定.....いつれか○で囲んで下さい ()月()日列車名 等・区間 から	まで	枚	
乗 車 券	乗車月日	月 日より	駅	駅まで	等 枚
予約金	指定券類 1 件 1 枚につき 500× 枚 計				
その他					

申込先 仙台市駅前三信ビル地階

日本交通公社仙台営業所 日本鉄鋼協会 係 仙台(0222)21-3611
日本金属学会

溶鉄、溶滓の物性に関する討論会(第4回)のお知らせ

—— 溶鉄および溶滓の密度、粘性、蒸気圧について ——

日本鉄鋼協会、日本金属学会、日本学術振興会合同の鉄鋼基礎共同研究会溶鋼溶滓部会では9月21日～23日開催の日本鉄鋼協会秋季講演大会・日本金属学会秋期講演大会に引続き、上記テーマに関し研究の現状、問題点などにつき下記により討論会を開催いたします。奮ってご参加下さるようご案内申し上げます。

記

日時 昭和43年9月24日(火) 9:30～16:30

場所 宮城県民会館第3会議室(6階)(仙台市常禅寺通り櫓丁)

講演予定

- | | | |
|--------------------|------|---------|
| 1. 溶鉄の密度と粘性について | 阪大工 | 足立 彰君 |
| 2. 溶滓の密度と粘性について | 阪大工 | 森田善一郎君 |
| 3. 溶鉄とるつぼの反応について | 京大工 | 萩野 和巳君 |
| | 神鋼中研 | 松村 嘉高君 |
| 4. 金属および酸化物の蒸気圧測定法 | 早大理工 | 成田 貴一君 |
| 5. 溶鉄および溶滓の蒸気圧について | 北大理 | 尾上 俊雄君 |
| | | 加藤 栄一君 |
| | | 丹羽 貴知蔵君 |

討論会資料 予価 400 円

日本鉄鋼協会秋季講演大会の会場受付、または当日の受付で頒布いたします。

連絡先 仙台市片平丁75 東北大学選鉱製鉄研究所 斎藤恒三(0222) 27-6200
郵便番号(980)

第1回西山記念技術講座開催のお知らせ

—— 8 月 19 日, 20 日 ——

本会では鉄鋼の製造、研究に従事する技術者を対象に、鉄鋼技術に関する最近の動向、将来の問題などについて、それぞれの権威者からご講演を願い、討論を行なうため、昭和40年より「技術講座」の名称で講習会を開催してまいりました。

過去多数の聴講者があり、わが国鉄鋼技術向上のため僅少なりとも貢献していると信じていますが、当「技術講座」の名称は、第13回をもつて一応終了し、本年8月より、「西山記念技術講座」と改称することになりました。

当「西山記念技術講座」は、川崎製鉄(株)から、故西山弥太郎氏記念のため当協会へ寄贈された資金により運営するもので、第1回「鉄鋼製鉄の基礎」をテーマに取上げ、下記プログラムにしたがい開催いたします。

これまでの「技術講座」同様、多数ご来聴下さいますようご案内申し上げます。

記

1. 期 日 昭和43年8月19日(月), 20日(火)

2. 会 場 大阪科学技術センター8階大ホール
大阪市西区靱町 1-118 Tel. (06-443-5321)

(・市バス梅田より肥後橋経由
・阿倍野行または上六行にて靱公園前下車
・地下鉄3号線信濃橋下車北へ50m)

3. プログラム — 鉄鋼製鉄の基礎 —

第1日(8月19日(月) 9:30～15:30)

9:30 多元系溶体成分の活量

京都大学 盛 利貞君

13:00 溶鋼のガス吸収

名古屋大学 井上 道雄君

特別講演

15:40 水島製鉄所の未来像

川崎製鉄(株)社長 藤本 一郎君

第2日(8月20日(火) 9:30～15:30)

9:30 溶鋼の脱炭、脱りん

金属材料技術研究所 郡司 好喜君

13:00 溶鋼の脱酸

(株)神戸製鋼所 成田 貴一君

4. 聴講無料 事前の申し込みは不要です。

5. テキスト代 1000円

International Conference on the Science and Technology of Iron and Steel

Tokyo, Japan

September 7-11, 1970

本会は 1970 年 9 月 7 日(月)~11 日(金)の 5 日間東京において鉄鋼技術国際会議を開催することになりました。会員の皆様方に本誌によりご案内致しますので奮ってご応募下さいますようご案内致します。

以下に First Circular 全文を掲載しご案内に代えさせていただきます。

なお, Preliminary Registration に必要事項をご記入のうえ本会事務局までお送り下さい。

Organizing Committee of the Conference

Chairman : M. Yukawa
Vice-chairmen : R. R. Hasiguti,
K. Yoshizaki

Honorary members : C. Asada, Y. Inayama, T. Mishima, H. Sawamura, T. Yamaoka
Members : A. Adachi, I. Fujimoto, I. Gokyu, M. Hasegawa, U. Hashimoto, T. Hayashi,
T. Hirayama, Y. Imai, T. Iki, S. Kobayashi, A. Koide, S. Matoba, K. Miyashita,
T. Mori, H. Nakano, M. Saito, K. Sano, S. Tabata, K. Takeda, K. Toshima,
T. Yagi, C. Yoshii

Executive Committee of the Conference

Chairman : R. R. Hasiguti

Members : T. Araki, T. Fuwa, K. Hagiwara, M. Hasegawa, K. Horikawa, T. Iki, T. Kai,
T. Kinoshita, Y. Matsumoto, Y. Matsushita, T. Mori, T. Nakamura,
K. Nakano, J. Nomura, K. Sanbongi, S. Tabata, T. Takeda, E. Umene,
K. Yoshida, T. Yano, K. Yoshizaki

Financial Committee of the Conference

Chairman : K. Yoshizaki

Members : T. Fujii, H. Ikegami, K. Kasai, T. Kinoshita, S. Matsumoto, T. Mitsui,
M. Nakatsukasa, S. Tabata, S. Toyota, T. Tsuchiya, S. Yamamoto,
Y. Yasuda, H. Yoshida

Technical Sub-committee of the Conference

Chairman : T. Araki

Members : T. Fuwa, K. Hagiwara, M. Hasegawa, K. Goto, K. Horikawa, T. Kai,
J. Kihara, Y. Matsushita, I. Miyauchi, T. Mori, K. Sanbongi, M. Nakamura,
I. Uchiyama, D. Yoshida, Y. Yoshitani

Administrative Sub-committee of the Conference

Chairman : S. Tabata

Members : M. Nakamura, K. Nakano, J. Nomura, K. Shimokawa,
T. Takeda, M. Tsukamoto, Y. Ueki, T. Yasuhara

**INTERNATIONAL CONFERENCE
ON
THE SCIENCE AND TECHNOLOGY OF IRON AND STEEL**

The Conference, organized by the Iron and Steel Institute of Japan, will be held in Tokyo from Monday 7th to Friday 11th September, 1970.

It will consist of seven sections:

Section 1 : Ironmaking

Section 2 : Steelmaking

Section 3 : Physical Chemistry of Iron- and Steelmaking

Section 4 : Rolling of Iron and Steel

Section 5 : Sheet Metal Forming and Formability, under joint sponsorship with International Deep Drawing Research Group

Section 6 : Physical Metallurgy of Iron and Steel

Section 7 : Educational Problems in Metallurgy, to be presented by invited speakers

1. Scope of the Conference

The aim of the Conference is to exchange new knowledge, emphasis being placed on recent development of processes, operations and steel products.

The following topics are proposed.

Section 1: Themes on Ironmaking

- 1) Comparison of sinter and pellet as blast furnace burden.
- 2) Computing control system of blast furnace and sintering plant.
Development and application of computing control system in blast furnace and sintering plant.
- 3) Higher productivity of blast furnace operation.
Techniques for higher productivity of blast furnace operation, e.g., high top pressure operation, oxygen enrichment, auxiliary fuel injection, use of pre-reduced burden and ore preparation.
- 4) New engineering in ironmaking.
New techniques employed in all phases of ironmaking operation from ore preparation to blast furnace such as modernization of plant, charging equipment and cooling device of furnace, refractories of the furnace and hot stove, etc. Uses of nuclear energy in future.
- 5) Physical and chemical properties of blast furnace burden and coke at elevated temperature.

Section 2: Themes on Steelmaking

- 1) Rerearch and development related to new processes in steelmaking.
Developments and applications and technical problems in such new processes as continuous steelmaking, continuous casting, and pressure casting, etc., which are either currently being developed, or are already being industrialized. Uses of nuclear energy in future.
- 2) Computing control system in basic oxygen furnace
Development and applications of end point control including process analysis, development of sensors, etc.
- 3) Melting practices in basic oxygen furnace.
Melting of alloy steel. Removal of carbon, phosphorus, sulphur, nitrogen, etc.
- 4) Designing of new steelmaking plant.
Modernization of plant, including layout, material handling, steel ingot handling, etc., and designing of new techniques such as vacuum degassing continuous casting, etc.

Section 3: Themes on Physical Chemistry of Iron- and Steelmaking

- 1) Properties of liquid iron and slag.
- 2) Metallurgical kinetics and dynamics of iron- and steelmaking.

Section 4: Themes on Rolling of Iron and Steel

- 1) Development in quality rolling.
New practices and devices for better surface, shape and uniform quality such as scale free heating, roll bending, nontwist mill, etc.
- 2) Automation of rolling mill.

Including mill instrumentation, computer application, identification system and production scheduling.

- 3) Application of rolling mill theory and simulation techniques.

Section 5: Sheet Metal Forming and Formability

The themes for this section will be proposed by International Deep Drawing Research Group later in the Second Circular.

Section 6: Themes on Physical Metallurgy of Iron and Steel

- 1) Functions of alloying elements in high strength steel.
- 2) Transformation and ageing phenomena of steels, including direct observation with electron microscope.
- 3) Lattice defects in iron and steel.
Dislocations, point defects, impurity atoms as point defects, interactions between lattice defects.

Section 7: Educational Problems in Metallurgy

Special speakers are being invited for this section and papers are not therefore being solicited. The themes on this section will be described in the Second Circular.

The items not included in the above themes can, of course, be accepted if the above mentioned aims of the Conference are attainable.

2. Submission of Papers

Active contributions are invited on the subjects proposed above or on related themes. **Two copies** of a preliminary summary of the paper, of about 1000 words including figures, tables, and photographs (if any) should be sent to the Secretariat of the Conference to arrive not later than December 15, 1969.

This preliminary summary is the only basis upon which the acceptability of papers will be judged.

The Secretariat will inform contributors not later than March 1, 1970 whether their papers have been accepted or not. The authors of accepted papers will be requested to send in by June 10, 1970 finalized abstracts to be published in the "Conference Preprints", which will be distributed to the Conference participants.

3. Publication of Proceedings

The Proceedings of the Conference will be published after the Conference as the Supplement to the Transactions of the Iron and Steel Institute of Japan. The full manuscripts of accepted papers should be received on the 1st day of the Conference, September 7, 1970.

4. Technical Visits, Ladies' Programme

After the Conference technical visits will be organized according to the interests of participants. Ladies' programme will be organized during the Conference.

5. Conference Language

The official language of the Conference will be English.

6. Preliminary Registration

The Conference is open to all scientists, engineers and others who are interested in the fields of science and technology of iron and steel. Those who wish to receive a copy of the Second Circular are urged to complete and return the preliminary registration, to the Secretariat of the Conference.

All correspondence and requests for further copies of this brochure should be addressed to:

Conference Secretariat

The Iron and Steel Institute of Japan

(Nippon Tekko Kyokai)

Keidanren Kaikan (3rd Floor)

No. 5, Otemachi 1-chome, Chiyoda-ku, Tokyo, Japan

Cable Address: "NIPPONTEKKOKYO, TOKYO"

INTERNATIONAL CONFERENCE
ON

THE SCIENCE AND TECHNOLOGY OF IRON AND STEEL

Tokyo, September 7-11, 1970
Preliminary Registration

Please return completed form immediately to the Secretariat of the
Conference.

(Please type or use block letters deleting or filling appropriately.)

Full name (Prof., Dr., Mr., Mrs., Miss)

Family Name	First Name	Middle Name
Position, Place of work and Postal Address		

1. I expect/do not expect to be able to attend.
2. My main interest is in section(s) ()
3. I will/will not present a paper/papers.
Possible title(s) of my paper(s) and preference of the Section(s) are

4. I expect/do not expect to be accompanied by the following adult
non-scientific member(s)
Mr.
Mrs.
Miss

INTERNATIONAL CONFERENCE
ON

THE SCIENCE AND TECHNOLOGY OF IRON AND STEEL

Tokyo, September 7-11, 1970
Preliminary Registration

Please return completed form immediately to the Secretariat of the
Conference.

(Please type or use block letters deleting or filling appropriately.)

Full name (Prof., Dr., Mr., Mrs., Miss)

Family Name	First Name	Middle Name
Position, Place of work and Postal Address		

1. I expect/do not expect to be able to attend.
2. My main interest is in section(s) ()
3. I will/will not present a paper/papers.
Possible title(s) of my paper(s) and preference of the Section(s) are

4. I expect/do not expect to be accompanied by the following adult
non-scientific member(s)
Mr.
Mrs.
Miss

第20回九州支部講演大会のお知らせ

1. 日 時 昭和 43 年 10 月 25 日 (金)
2. 場 所 九州工業大学 (北九州市戸畑区仙水 1)
3. 講演要領
 - 1) 講演内容: 金属および鉄鋼の学術技術に関するオリジナルな発表
 - 2) 講演時間: 1 講演につき講演 25 分, 討論 5 分
 - 3) 講演申込: 適宜用紙に題目, 講演者氏名 (講演者に○印)
幻燈の有無, 勤務先, 職名, 連絡先など明記の上 8 月 31 日までに申込のこと.
 - 4) 講演概要: 講演原稿は表, 図, 写真を含め 400 字詰原稿用紙 4 枚以内にとりまとめ
9 月 20 日までに提出のこと.
 - 5) 申込先: 日本鉄鋼協会九州支部 (北九州市八幡区枝光八幡製鉄所技術研究所内)

Tran. ISIJ (Vol. 8 No. 3) 発行のお知らせ

本会では Trans. ISIJ を年 6 回発行しておりますが, 1968 年第 8 巻第 3 号が発行されましたので, 購読を希望される方は下記目次ご覧のうえお申し込み下さい.

記

頒 価 会員 600 円 非会員 1000 円
 申込先 東京都千代田区大手町1-5 経団連会館 3 階
 日本鉄鋼協会編集課 (郵便番号 100 番) Tel. 03-29-6021 (代表)

目 次 第 8 巻第 3 号

Review

Dislocation Dynamics and the Response of Materials to Impact
 By John J. Gilman (117)

Research Articles

Rate of Absorption of Nitrogen in Liquid Iron and Iron Alloys
 By Michio Inouye and Takao Choh (134)

Study on the Bonding Mechanism of Fired Pellets
 By Minoru Sasaki, Takao Nakazawa, and Shin-ichi Kondo (146)

High-Temperature Corrosion of Iron and Steel in Sulfur Vapor
 By Keizo Nishida (156)

Decarburization of Molten Iron with Oxidizing Gases and
 Oxidation of Coexisting Metallic Elements
 By Kōin Itō and Kōkichi Sano (165)

Analysis of Factors Limiting the Blast Furnace Productivity
 By Kiyoshi Segawa and Hideki Ishikawa (172)

Measurement of the Size Distribution of Nonmetallic Inclusions in Steel
 By Yoshio Miyashita and Katsuhiko Nishikawa (181)

Abstracts from Tetsu-to-Hagané,
 Vol 54 (1968), Nos. 4 and 5 (Mar. and Apr.) (186)
 An Inaugural Message from the President

By Ichiro Fujimoto (A-20)
 Officers of The Iron and Steel Institute of Japan (A-21)
 New Honorary Member, Mr. John P. Roche (A-24)
 Tawara Gold Medal Winner, Mr. Chohei Asada (A-25)
 Institute Announcement and Reports

—53rd General Assembly and 75th ISIJ Meeting— (A-26)
 Contents of Recent Articles on Iron and Steel Published in Japan (A-28)
 Contents of Tetsu-to-Hagané, Vol. 54 (1968), Nos. 4 and 5 (Mar. and Apr.) (A-29)
 International Conference on the Science and
 Technology of Iron and Steel